

地域経営論（3年生後期／経営情報学科専門選択科目）

到達目標

- ・ 地方自治と地域経営について理解し、両者の関係を説明することができる。
- ・ 農山村地域などの活性化における基本的な考え方を説明することができる。
- ・ 地域経営の主体について具体的に述べることができる。
- ・ 発展する地域と衰退する地域の違いを説明することができる。

内容・項目	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
地域区分	地域区分の方法について、二つの考え方を事例とともに説明することができる。	地域区分の方法について、二つの考え方を説明することができる。	地域区分の方法について、二つの考え方が整理されていない。	地域区分と地域の概念がつかめていない。
都市と農村	都市と農村、それぞれの地域的役割と両者の相互依存的な関係を事例とともに説明することができる。	都市と農村、それぞれの地域的役割と両者の相互依存的な関係を説明することができる。	都市と農村、両者の相互依存的な視点が不十分である。	都市と農村、両者を関連付けることができない。
地方自治と地域経営	地方自治と地域経営の両者の関係を図に描いて説明することができる。	地方自治と地域経営について理解し、両者の関係を説明することができる。	地方自治と地域経営について、両者の関係が整理されていない。	地方自治と地域経営について、両者の位置付けができない。
地域活性化	地域の活性化における基本的な考え方を具体例とともに説明することができる。	地域の活性化における基本的な考え方を説明することができる。	地域活性化が短期的な視点に留まっている。	地域活性化を具体的にイメージできない。
地域経営の主体	地域経営の主体について「自分事」の視点から具体的に述べることができる。	地域経営の主体について「自分事」の視点から述べることができる。	地域経営の主体が「他人事」の視点に留まっている。	主体という概念を把握していない。
発展する地域と衰退する地域	発展する地域と衰退する地域の違いについて、テキストと具体例を踏まえて説明することができる。	発展する地域と衰退する地域の違いについて、テキストを踏まえて説明することができる。	発展する地域と衰退する地域の違いを自分なりに説明することができる。	発展する地域と衰退する地域の違いを説明することができない。